



読字 原田 鏡

No. 836

2017/ 8/5

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒110-0045 東京都千代田区千代田1-1-1

日中友好協会  
岡山支部  
〒700-8256 岡山市東区3-8-30 514  
TEL:0861272-3010  
郵便番号1100 01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8511 倉敷市遊鳥中央1-8-4 (宮地方)  
TEL/FAX:0861416-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.biz/>  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



## 被害のヒロシマの前に加害の南京があった(1)

### 「閉ざされた記憶 ノーモア南京展」を見て

曾田 和子

7月15日から23日まで、閉ざされた記憶 ノーモア南京展」が広島市袋町の旧日本銀行広島支店で行われました。この建物は原爆投下時をそのまま残し伝える貴重な遺跡です。ここは、被害の広島の前に加害の南京があったことを忘れまい、と伝えるにふさわしい展示場所だと思います。

80、賛同人、団体を加えると120個人、団体に支えられたの展示です。由木さん(南京大虐殺60周年広島県連絡会世話人)によると、広島での南京展は今回で3回目、このこと。



展示に見入る館内の見学者たち

まず、97、98年には、南京大虐殺、盧溝橋事件60周年日中国交正常化25周年、日中平和友好条約締結20周年を記念して侵華日軍南京大虐殺遇难同胞紀念館所蔵の写真、ネルや証拠品のレプリカを展示、盧溝橋から南京へ「写真、ネル展」歴史の真実を子どもたちに伝えよう

中共共同声明による国交正常化45周年、来年、日中平和友好条約締結40周年の記念にあわせての開催であり、県内展示はこれからのとりくみになるそうです。

甲山、神辺、広島6か所で開催。また映画「南京1937」の上映にもとりくんだとのこと。2回目は2002、03年にそれぞれ、65周年、30周年、25周年を記念して、南京・閉ざされた記憶」展を呉、広島、竹原の3か所で開催しています。今回は日

今回、50枚の展示パネルは直観、絵と写真から南京大虐殺を感じる「認識 南京大虐殺の歴史を学ぶ」記録、実物から歴史に接近する「記憶 歴史を忘れない」継承平和のために「5つの構成部分から成っています。1年かけて準備してきたとのこと。す。いやがらせや妨害はなかつ



旧日銀広島支店の玄関

た?との私の問いに由木さんはこともなげに 私たちはすでに3回、やってきましたから」と。

最初は、現地代表で栗原君子元参議院議員のあいさつ、広島の前に南京への加害があったことを忘れてはいけない」と述べました。後でわかったことですが、彼女は社会党から広島選挙区で92年に当選、当時は土井党首であったとの

こと。生まれめんかな」の詩人栗原貞子さんとの関係は?と聞くと、親戚ではないが、とてもかわいがってくれました」とのこと。現在は、重慶大爆撃被害者と連帯する会「共同代表を務めています。ただ残念だったのは、彼女からは、核兵器禁止条約が国連で採択されたことに触れた発言が一言もなかったことです。次いで、南京大虐殺幸存者・李秀英さんの娘である陸玲さんが、わたしは母・李秀英の体験を伝えるのが自分の任務、今回もそのために日本に

ぼっこう楽しくゆうて、でえれえ勉強になった中国旅



丸山 眞子さん 肩にトンボが止まっている

中国は20年めえに、いって8けえいとるけど、こんど、行こういわれ、うれしゆうて、持つていくものいっぺえ用意した。

私がもつとったケース、大きゆうて小林さんに「何いれとん?」いわれて「下着などの衣類」いゆうてみんなに笑われてしもうた。

ありがどう。またつれてつて

バスにのって、そこを見るのと、ナンバ(とうもろこし)畑がでえれえひろうて、いっぺえあつてびつくりしたな。へでもあけえ屋根のボロボロ家、いっ

ひきあげ者の話、すんどつた場所を見たり苦勞した話や博物館をみたり、ひつじをみたり、夜はごっそうがいつぺえ、バスの中で岡山方言を皆いつぺえいわれた、66もあつたで

ぼっこうたくさんレンガ作りやでえれえ大きい建物をみたり、日本人の歴史をみたり、聞いてうれしゆうて。

# 2017年中国東北部を訪ね

## 日中友好を促進する旅

小林軍治

私は、7月13日(木)から18日(火)まで標記の旅に参加しました。

今年、日中国交正常化45周年、盧溝橋事件80周年、日本国憲法施行70周年

など節目の年です。9月で75歳になる私にとっては、平和運動の原点を再確認する旅でもあります。

今回も青木先生と一緒に企画し、(株)アジア・コミュニケ



龍爪開拓団跡地で、以前日本人が住んでいた小屋を取り壊した場所で地元の人々と

ーションの西上さんに添乗員・通訳として、大変お世話になりました。

この旅には、山陽新聞の高見さん(2015年にも参加)と羊の研究をしている山本さんが同行しました。高見さんの記事は、7月30日の朝刊のりりました。

### かわらぬ誕生の地のあたたかさ

行程を振り返りながら報告します。

13日は、岡山空港からソウルの仁川空港を経由し、牡丹江空港へ到着しました。

出迎えの劉鉄昌(全行程のガイド兼通訳)さんの案内で専用車(バス)にのり、市内観光をしました。劉さんは、前回(2015年)も通訳してくれた人で、日本についても勉強していて、日本語も上手です。

14日は、牡丹江から専用車で高速道路を約2時間走るともうこし畑が果てしなく続く「景観」を楽しみながら、林口を通って龍爪開拓団跡(岡山県日の出郷・私の生まれた場所)を訪問しました。

突然の訪問で、日中の暑い時間にもかかわらず、あたたかく迎えてくれ、案内してくれました。いつ来ても、心あたたまる気持ちになります。林口まで帰って昼食をと

り、再度日の出郷を訪れました。日の出郷の入り口付近(橋など)を写真に撮り、幼児の私が遊んだであろう場所を歩きました。その後、龍爪駅跡、綿羊牧場跡、大阪の浪花郷跡などを訪れ、林口の林口鎮希望小学校(旧林口第3小学校)を見学しました。

夜は、林口楠山明珠賓館で、日の出郷の人々と夕食を共にし、乾杯を繰り返しながら約一時間半交流しました。

現地の人と時間をかけて交流したい」との長年の念願がかない、感激しました。夕食後は、日の出郷まで送っていき、最後に握手をして別れられない。

15日は、林口から高速道路ではなく、私の引き揚げ道中をたどりながら牡丹江へ向かいました。着後、市内を散策しました。午後は、約5時間かけてハルビンへ専用車を走らせました。夕方のハルビンでは、ロシア建築や松花江を見学しました。そこから歩いて出てくるのか、人の波「夫声で話し、ショート・パンツで闊歩する男女」資本主義経済のもと、活気づく中国の一面に接しました。

16日は、専用車でハルビン市内の旧桃山小学校跡などを車中より眺め、平房区731部隊遺跡と東北烈士記念

館を見学しました。731部隊については、1983年ころと比較して、いずれ報告します。

16時29分発の高鉄896(中国の新幹線)にのって、長春へ向かいました。

17日は、午前中長春市内(旧日本人官舎跡、人民公園、偽満皇宮など)を見学しました。同行の守屋さんが住んでいたあたりを訪れました。

15時28分の高鉄1242で瀋陽に向かいました。

18日は、専用車で瀋陽空港へ向かい、10時15分の便に乗りソウルの仁川に13時5分に到着しました。出発まで5時間くらいあるので、青木先生の案内で4人(小林・高見・犬飼・長尾)は、地下鉄にのり「LOTTE・Mart」に出かけ、キムチなどの土産品を買いました。

岡山空港へは、20時40分頃に到着しました。

### 開拓団跡地訪問5人がはじめて

前述の青木・高見・山本・小林に加えて、日中岡山の河井・丸山・稲葉、日中倉敷の犬飼・守屋そして長尾の計10人が参加しました。

初めて開拓団跡地を訪れたのは、河井・丸山・稲葉・山本・犬飼の5人です。私は、1983年に父と一緒に訪れてから六回目になります。

今回は、私が生まれた日の出郷に住んでいる人々と、ゆっくり時間をかけて交流したいと思いい、14日は一日、林口、龍爪地区の訪問にあててもらいました。

日の出郷の人々との交流会の様子、訪れるごとに変化する中国の現状などについては、今後参加者の報告や感想文で紹介していきます。

| 第49回全国きりえコンクール岡山の入選者 |         |     |
|----------------------|---------|-----|
| 岸本幾代                 | 軒先のダンス  | 優秀作 |
| 岸本幾代                 | お気に入りの店 | 入選  |
| 竹内宜子                 | お寺の中庭から | 入選  |
| 竹内宜子                 | 待ち合わせ   | 入選  |
| 佐々木ふさ子               | 早春      | 入選  |
| 佐々木ふさ子               | 夏雪かざら   | 入選  |
| 新井加代子                | 庭の一隅    | 入選  |

次回の新聞送付作業は8月14日(月)午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。小川 和 小川 内 竹内 和 竹内 和